

弘法山公園とは

昭和35（1960）年に「かながわの自然公園」に指定され、県立丹沢大山自然公園の一部として守られている弘法山公園。自然公園とは、都道府県が指定する優れた自然の風景地で、美しい景観と豊かな自然を保護するために設けられています。四季折々の花や緑が楽しめるほか、園内からは秦野市街や富士山まで望むことができ、ハイキングや散策にも人気のスポットです。

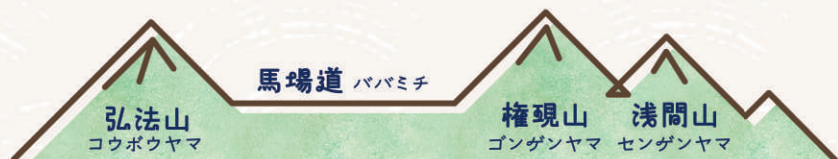


馬場道広場

公園内の3ヶ所のベンチを組み合わせると富士山の形が完成
P.12・13参照

3つの山からなる弘法山公園

「浅間山」「権現山」「弘法山」の3つの山が連なり、それぞれの山頂からは相模湾や富士山を望む絶景が広がっています。



弘法山公園の西側に位置する浅間山は、山頂の西端から富士山を望むことができます。山頂の手前には、山名の由来となった浅間神社の小さな祠が静かに佇み、訪れる人々を見守っています。

かつて「千畳敷」と呼ばれた山頂は、広々とした野原が広がっています。展望台からは360度の大大パノラマが楽しめ、房総半島や相模湾、富士山、箱根連山、丹沢の山並みまで見渡せます。昔は権現堂があり、その名が山名の由来となりました。



山頂にある展望デッキからは、湘南の海や江の島、晴れた日には東京スカイツリーまで見える雄大な景色が広がります。また日の出も美しく、訪れる人々を魅了します。山名は、弘法大師がこの地で修行を行ったという伝説に由来しています。